



南島原市から世界遺産を！

長崎の教会群とキリスト教関連遺産

保存管理計画を作っています



保存管理計画策定委員会

明日の世界遺産

THE TOMORROW'S WORLD HERITAGE

CHAPTER.07

世界遺産登録には、資産の保護、管理が欠かせません。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」も例外ではなく、本市でも、原城跡、日野江城跡、吉利支丹墓碑を大切に保存、管理、活用していくため、「保存管理計画」を現在作っています。各史跡をどのように管理していくべきかは、それぞれの史跡で違いますが、そ

「計画を作る理由と目的」
今月は、現在作っている「保存管理計画」について、作目的や理由、現在の進捗状況(進み具合)をお知らせします。



史跡周辺自治会長との意見交換会

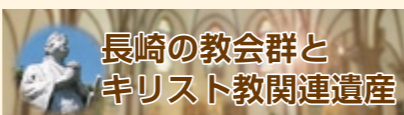
それぞれ十分に検討する必要があります。また、今後は、多くの人に観てもらうためにも、案内看板や駐車場などを整備していかなければなりません。この場合も周りの環境との調和を乱さないような仕組みづくりが必要で、保存管理計画の中でこうした仕組みも取り決めていきます。

「計画づくりの今後」
今後は、史跡内の土地所有者、近くの住民の皆さんとの意見交換会を開くなど、所有者、地元住民の協力を得ながら、地域の皆さんと一体となって計画を作り上げる予定です。これからも、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

「計画づくりの今」
現在、保存管理計画には、大学教授や地元郷土史家などによる保存管理計画策定委員会を作り、文化面や自然面など、色々な観点から検討を行っています。また、地元の意見を生かした計画を作るため、史跡周辺の自治会長との意見交換会を行いました。会では、「史跡周辺の雑草が気になる」「史跡の歴史・文化を子どもから大人まで伝えるべきでは」などの意見が出ました。



と上五島出身の建築者として有名な鉄骨造の教会として、重層な内部空間が特徴で、煉瓦造の教会堂の構造例として、煉瓦の起点といわれる。信者たちは、老若男女を問わず、海岸から背負い、労働奉仕まで行なった。



長崎の教会群とキリスト教関連遺産

構成資産シリーズ⑥
おさがうらてんしゅう
青砂ヶ浦天主堂
新上五島町

まちの話題

Minami Shimabara City My Town Topics



「地域振興フォーラム in 南島原」

「地域振興フォーラム in 南島原」が11月22日(土)にありエコレジヨホールで開催されました。このフォーラムは、この地が、日本の近世教育の礎を築き、さらに、長崎の教会群との深い関わりを検証することで、歴史的遺産を見詰めなおし、世界遺産登録の推進へつながることを願って開催されたものです。開会に先立ち、純心中学校コーラス部の澄み切った歌声が、県内外からの300人の観客を魅了しました。

「有馬セミナリヨの精鋭たちが現代に問いかけるもの」と題して、カトリック長崎大司教区の古巣馨神父の講演、島根県立古代出雲歴史博物館学芸員の佐伯徳哉氏から、石見銀山の世界遺産登録の取り組み、さらに、「歴史資産を活かした地域振興 世界遺産登録をめざして」をテーマに、本市加津佐町出身の岡部まりさんら4人のパネリストによるディスカッションが行われ、歴史的資産の学術的な掘り起こし、観光行政への提言、市民の役割、ふるさとへの思いなど、様々な観点から意見を述べられました。

市食改深江支部が厚生労働大臣表彰



10月23日(木)南島原市食生活改善推進員協議会深江支部と同支部長の福嶋美恵子さんが、食生活改善活動の積極的な推進などの功績が認められ、厚生労働大臣表彰を受賞されました。

なお、布津支部においても活動が認められ、県知事感謝状が贈られています。皆さんおめでとございます。



南島原市掘り出し物市

11月29日(土)と30日(日)の両日、南島原市掘り出し物市が旧口之津第二小学校で行われました。これは、市の合併や学校の統廃合で使わなくなった備品を払い下げ、オークションにかけたものです。初日の開始時間前から、掘り出し物を得ようと多くの人が詰めかけ、開始30分後には、無料品のほとんどがなくなるなど盛況となりました。



南島原市防災訓練

11月16日(日)、深江グラウンドで、有明海でマグニチュード7の地震が起きたという想定で、南島原市防災訓練を行いました。深江地区の参加者と消防団員は、住民の避難や消防団、警察の出動などを行い、本番さながらの訓練となりました。参加者は、訓練や体験コーナーを通して、忘れたころにやってくる「災害」を身近に感じているようでした。

お知らせ こころの健康づくり講演会

思いあたる「からだがだるく疲れがとれない…」
「疲れているのに眠れない…」
「なんだか気分が落ち込みがちで元気がでない…」

現代はストレス社会といわれ、うつ病の初期症状を訴える人が増えてきます。うつ病は特別な病気ではなく、誰でもなる可能性がある身近な病気です。ご自身や家族、周りの方のこころの健康に目を向ける機会にしてみませんか。【健康でたのしく暮らすヒント】をみつけましょう！

- 日時 1月29日(木) 午後7時～
- 場所 原城オアシスセンター
- 演題 気づいてほしい こころのサイン ～現代社会のストレスとうつ病～
- 講師 島原保養院 医師 立花 裕樹氏
- お問い合わせ：福祉保健部 福祉保健課 ☎050 (3381) 5050



卒業に向けて最後まで6年生としての仕事をがんばります。
飯野小学校 名前 荒木 優花

中学校でもすてきな友達つくります
堂崎小学校 名前 野村 遊生

